

キャベツ畑の

JAO 日本愛妻家協会
Japan Aisaike Organization

中心で妻に 愛を叫ぶ Vol.16



おかえり、愛妻家♡

9.12 2021
Sun 11:22am
start

群馬県吾妻郡嬭恋村田代「愛妻の丘」

【主催】日本愛妻家協会・嬭恋村
【協力】嬭恋村観光協会・嬭恋村商工会・嬭恋村キャベツリズム研究会

愛の言葉を胸に秘めた 男たちが帰ってくる。 再び、奇跡のドラマが誕生する。



標高1200m。広大なキャベツ畑の中のお立ち台で、男たちが愛を叫ぶ。題して「キャベチュー」。
社会現象にもなった「夫婦環境倦怠感削減実験プログラム」も、今年で第16回！
すでに約400人の男たちの叫びが、奥様や彼女の心を射止めています。
ふだんは、そんな素振りも一切見せないニヒルな男たちの愛の叫び。
男がミエとテレとタテマエとセクセンターを手放すとき、なんでもない丘が、「愛妻家の聖地」として降臨する！

そもそも「^{つまごい}嬌恋村」の 名の由来をご存知ですか？

日本書紀によると1900年前に、日本武尊（ヤマトタケルノミコト）は、この地で、弟橘姫（オトタチバナヒメ）という奥様の死を偲んで叫んだ言葉が「あずまはや」と言われます。「あずまはや」を漢字で書くと「吾嬌者耶（あずまはや）」。
つまり嬌恋村の『嬌』という字は、この吾嬌者耶（あずまはや）の文字から来ていて、これが「わがつま…」吾妻郡につながります。まさに、「わが妻を愛する村」なんですね。

浅間山の雄姿に、広大な キャベツ畑。目の前の絶景が 叫びを盛り上げます。

愛妻の丘は、嬌恋村の住民たちが心をこめてつくった広場です。「妻に愛を叫ぶ専用叫び台」もあります。植栽も施された美しい愛のホットスポットで、いまやドライブ名所でもあります。
「つまごいパノラマラインの北ルート沿い」にある「愛妻の丘」の標識が目印です。

